

## 第 94 回天皇杯・第 85 回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会 大会要項

2018/7/12 現在

1. 大会名称 第94回天皇杯 第85回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会
2. 主催 公益財団法人日本バスケットボール協会
3. 共催 共同通信社  
共催に同意した共同通信加盟社
4. 主管  
    《1 次 ラウンド》 (一社)宮城県バスケットボール協会(東日本大会)  
                          (一財)岐阜県バスケットボール協会(中日本大会)  
                          (一社)山口県バスケットボール協会(西日本大会)  
  
    《2 次 ラウンド》 (一社)岩手県バスケットボール協会(岩手大会)  
                          (一社)栃木県バスケットボール協会(栃木大会)  
                          (一社)神奈川県バスケットボール協会(神奈川大会)  
                          (一財)愛知県バスケットボール協会(愛知大会)  
                          (一社)京都府バスケットボール協会(京都大会)  
                          (一財)大阪府バスケットボール協会(大阪大会)  
                          (一社)徳島県バスケットボール協会(徳島大会)  
                          (一社)愛媛県バスケットボール協会(愛媛大会)  
  
    《ファイナルラウンド》 公益財団法人日本バスケットボール協会
5. 協賛 《1次～ファイナルラウンド》株式会社 モルテン  
    《ファイナルラウンド》朝日新聞社、富士通株式会社、三井不動産株式会社、  
    株式会社明治
6. 後援 NHK(予定)
7. 期日 《1 次 ラウンド》 2018 年 9 月 15 日(土)～17 日(月・祝)  
    《2 次 ラウンド》 2018 年 12 月 1 日(土)～2 日(日)  
    《ファイナルラウンド》 2019 年 1 月 10 日(木)～13 日(日)



# 天皇杯・皇后杯 EMPEROR'S CUP AND EMPRESS'S CUP BASKETBALL 2019

## 8. 会 場 《1 次 ラウンド》 全国 3 会場

＜東日本大会＞元気フィールド仙台 ・ 東北学院大学泉キャンパス体育館(宮城県仙台市)

＜中日本大会＞岐阜メモリアルセンター で愛・ふれ愛ドーム(岐阜県岐阜市)

＜西日本大会＞麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンター・メインアリーナ(山口県周南市)

## 《2 次 ラウンド》 全国 8 会場

＜岩手大会＞:奥州市総合体育館 Zアリーナ(奥州市)

＜栃木大会＞:ブレックスアリーナ(宇都宮市)

＜神奈川大会＞:トッケイセキュリティ平塚総合体育館(平塚市)

＜愛知大会＞:ウイングアリーナ刈谷(刈谷市)

＜京都大会＞:島津アリーナ京都(京都市)

＜大阪大会＞:府民共済 SUPER アリーナ(大阪市)

＜徳島大会＞:鳴門県民体育館 アミノバリューホール(鳴門市)

＜愛媛大会＞:愛媛県総合運動公園体育館(松山市)

## 《ファイナルラウンド》

さいたまスーパーアリーナ(埼玉県さいたま市)

## 9. 大会方式 トーナメント戦によるノックアウト方式

10. 競技規則 「2018 バスケットボール競技規則(Official Basketball Rules2017)」による。  
また、そのプレーヤーが競技中に身につけるものは、原則として日本バスケットボール協会の「競技規則 第4条 4-4 その他の身につけるもの」に準ずるものとする。

## 11. 出場チーム 男子:65 チーム

### 《1 次 ラウンド》

＜東日本大会＞北海道～山梨の都道府県代表 15 チーム

＜中日本大会＞長野～和歌山の都道府県代表 15 チーム

＜西日本大会＞鳥取～沖縄の都道府県代表 17 チーム

### 《2 次 ラウンド》

男子:31 チーム/1 次ラウンド突破 13 チーム+ Bリーグ 18 クラブ(2017-18 シーズンの成績に基づき、B1/B2 の入れ替えの結果を反映)

### 《ファイナルラウンド》

2 次ラウンドに勝利した 8 チーム

女子:59 チーム

### 《1 次 ラウンド》



＜東日本大会＞北海道～山梨の都道府県代表 15 チーム

＜中日本大会＞長野～和歌山の都道府県代表 15 チーム

＜西日本大会＞鳥取～沖縄の都道府県代表 17 チーム

《2 次 ラウンド》

女子:チーム/1 次ラウンド突破 13 チーム+WJBL12 チーム

《ファイナルラウンド》

2 次ラウンドに勝利した 8 チーム

12. 参加資格
- (1)平成 30 年度において JBA に加盟登録されたチームであること
  - (2)平成 30 年度において JBA に競技者登録された選手であること
  - (3)大会を通じて、ベンチで指揮するものは、JBA 公認コーチであること。  
またその資格は、JBA 公認 D 級コーチ以上とする。
  - (4)帰化選手(満 16 歳となった後に国籍法に基づく帰化によって日本国籍を取得した選手をいう。)の登録は 1 名以内とする。

13. チーム編成
- (1)チーム編成はスタッフ 9 名、選手 16 名の計 25 名以内とする。
  - (2)エントリーするスタッフのうち、試合中に指揮をとる者は JBA に登録された JBA 公認コーチ(D 級以上)でなければならない。
  - (3)外国籍選手(基本規程による)及び帰化選手の出場は下記の通りとする。

《1 次 ラウンド》

- ① 男子:オンザコート1とし帰化選手は含まれない。延長時間についても同様とする。(エントリー人数の制限は設けない)
- ② 女子:オンザコート1とし帰化選手は含まれない。尚、試合にエントリーできる外国籍選手および帰化選手は合計 2 名以内とし、その内帰化選手は 1 名以内とする。

《2 次～ファイナルラウンド》

- ① 男子:(※前年より変更)
  - (ア) 本ラウンドで登録できる外国籍選手数は、1 チーム合計 3 名以内とし、帰化選手(満 16 歳となった後に国籍法に基づく帰化によって日本国籍を取得した選手をいう。以下同じ。)については、外国籍選手と別途1 チーム1名以内とする。
  - (イ) 試合にエントリーすることができる外国籍選手は、前項のうち1チーム合計2名以内とし、帰化選手は外国籍選手と別途1名以内とする。
  - (ウ) 試合中同時にプレーできる外国籍選手数は、試合を通して2名以内とし、帰化選手は試合を通して外国籍選手2名と同時にプレーすることができる。
  - (エ) 延長時限においても前項と同じく取り扱うこととする。



② 女子:

(ア) オンザコート 1 とし帰化選手は含まれない。

(イ) 試合にエントリーできる外国籍選手および帰化選手は合計 2 名以内とし、その内帰化選手は 1 名以内とする。(※前年同様)

14. 大会登録

①ラウンド毎の選手・スタッフの登録期限は下記の通りとする。

ただし男子における 2 次ラウンド以降の外国籍選手の試合エントリーは試合前に都度行うこととする。

《1 次 ラウンド》 2018 年 9 月 3 日(月)

《2 次 ラウンド》 2018 年 11 月 28 日(水)

《ファイナルラウンド》 2019 年 1 月 8 日(火)

②注意事項

- ・ 天皇杯・皇后杯に参加する選手は、JBA 登録規定に基づき、大会登録手続きを行わなければならない。
- ・ 大会登録されていない選手は試合に出場してはならず、また、試合直前のウォーミングアップにも参加させてはならない。
- ・ 参加チームは、その時点におけるベストメンバーをもって公式試合に臨まなければならない。
- ・ 1 次ラウンドでは、9 月 3 日の大会登録内容に変更または追加が生じた場合のエントリー手続きは下記とおりとする。

(ア) 定められた手続きにより選手・スタッフの変更及び新規登録を認める。

(イ) エントリー変更手続きは、別途送付する書類(チームハンドブックに添付)の案内の通り行うものとする。

《1 次ラウンド》 大会登録変更可能期日 9 月 12 日(水)

15. 使用球

JBA 検定球の男子:モルテン GL7X、女子:モルテン GL6X を使用する。

16. ベンチ

組合せ番号の若いチームがテーブル・オフィシャルズに向かって右側とする。

以上

